

種目名	2 書写	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	教育出版
-----	------	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	学校図書	三省堂 ※見本本なし	教育出版	光村図書	日文
1 学習指導要領との関連		・伝統産業である道具の説明、筆作り職人のインタビューを紹介したり、古典を教材として取り上げたりするなど、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮されている。	・手本文字として示した言葉や資料などを通して、道徳心や他者への思いやりの心構えを培えるよう配慮されている。	・身につけた書写技能を統合的に活用できるよう他教科の学習や日常的な活用を取り上げて教材化されている。	・「学習の進め方」を提示することで、主体的に学習する能力を高められるよう工夫している。 ・日本及び他国を理解し、平和を願う態度が養われるような教材が設定してある。	・課題発見・解決の活動を基本として文字を書く楽しさを体感し、豊かな情操が培われるよう工夫されている。	・情操や道徳的心情を養う言葉を教材として選定している。 ・自己評価欄を設定するなど、自主・自律の精神を養えるようにしている。
2 あいちの教育の基本理念		・「生活に広げよう」のページでは、各学年に応じて、自分の思いや調べたことの発信方法を学ぶことができ、これからの社会に生かす力を養うことができるようになっている。 ・童謡や古文・漢文などのなぞり教材があり、伝統文化に触れられるように工夫されている。	・「資料」では、書写の道具や漢字、ひらがなの成り立ちなど多岐にわたり学べるようになっており、それを他教科や日常生活で生かせるようになっている。 ・我が国の伝統文化を紹介するとともに、他国との文化的共通性や、共有する思いにも触れられるようにしている。	・年頭に行われる伝統行事である書き初めを全学年で取り上げてある。 ・学校生活の様々な書字場面を取り入れて、教材化してあり、他教科・学校生活との関連を図ってある。 ・全学年「ひろげよう」が配置されている。	・「課題選択教材」など、自ら課題を設定して取り組めるように教材の工夫がある。 ・他教科や日常生活で活用できるように、手紙やはがき、掲示物の書き方、メモのとり方など、場面に応じた書き方のポイントが具体的に解説してある。	・各学年に、国語との関連教材を設け、学習したことが生かせる。また、生活に関連する巻末資料が充実していることで、身につけた力を活用するイメージを持たせ主体的に生かしていけるよう工夫されている。 ・学習の見通しを巻頭に分かりやすく示し、自ら学習が進められるよう工夫されている。	・「広がる学び」というページが設けてあり、書写で学習したことを手紙や案内状等、日常の生活で生かせるように工夫されている。 ・3年生以上では、古典や文学作品を書く教材が設定してある。
3 内容等	(1) 内容の選択	<u>東京書籍</u> ・基礎基本を身に付け、生活に生かせるように教材が適切に選択されている。 ・他教科で活用できる	<u>学校図書</u> ・基礎基本を身に付け、生活に生かせるように教材が適切に選択されている。 ・他教科や生活に活用	<u>三省堂</u> ・「たしかめよう」で実際に書いた字について、振り返る観点が明記してある。	<u>教育出版</u> ・基礎・基本の習得やその活用ができるようにされている。 ・めあてがきちんと文章化されている。	<u>光村図書</u> ・各学年に、国語や生活などとの関連教材を設けてある。 ・3年では、基本的な	<u>日文</u> ・「考える」「確かめる」「いかす」の3ステップで段階的に学習できる工夫がある。

	<p>ように、各学年に応じて手紙や新聞、観察カード作り等に関する教材が配置されている。</p>	<p>できるように、各学年に応じて手紙や新聞、感想文、ノート等に関する教材が配置されている。</p>	<p>・学びの過程とポイントを的確にとらえ、自ら学ぶ力を身につけられるように工夫されている。</p>	<p>・各学年の硬筆教材は、国語の教科書から取り上げてある。 ・「日本語の美しさ」を身につけ「豊かな心」を育む教材を選定している。</p>	<p>点画が、4年生では組み立て方が、5・6年生では字形と字配りが取り上げられている。 ・課題解決学習を想定し、見開き1ページで完結するように工夫されている。</p>	<p>・「もっと書こう」コーナーが設けられ、各学年に、国語との関連教材を配置してある。 ・基礎・基本の習得やその活用ができるようにされている。</p>
(2) 内容の程度	<p>・標準的な字形で健康的で明るい書風で用途に合わせた用筆が紹介されている。 ・中学年では基本的な点画が、5年生では字形・組み立て・つながりが、6年生ではつながり・配列が取り上げられている。 ・朱墨を使った穂先の動きが多く示されており、筆の運びが分かりやすい。 ・「生活に広げよう」のページで他教科でのノートの活用例が紹介され、習熟を図ったり、発展的な学習に応用できたりするように配慮されている。</p>	<p>・端麗で美しい手本文字が用いられ、穏健、中正な書風であり、用途に合わせた筆が紹介されている。 ・中学年では基本的な点画が、高学年ではつながり・字配りが取り上げられている。 ・資料が充実しており、筆使いに関する写真が掲載されていて、分かりやすい。 ・朱墨を使った筆の運びが、部分的に示されている。 ・筆順を間違えないように番号が明記してある。</p>	<p>・「考えよう」というコーナーがあり、良くない例を挙げ、どのように直すか考えるながら学習できるようになっている。 ・中学年では基本的な点画が、4年生後半では組み立て方が、高学年では字配りや字形の整え方が取り上げられている。 ・穏健、中正な書風で、特に3年生では点画の書き方が丁寧に示されている。 ・発達段階に沿った学習が効果的に行えるよう工夫されている。</p>	<p>・3年生では基本的な点画が、4・5年生では組み立て方が、5・6年生では字配りが取り上げられ、3年以上では、「ためし書き」「まとめ書き」という欄があり、自分の上達を確認できるようになっている。 ・穏健、中正な手本文字が用いられ、用途に応じた筆が紹介されている。 ・筆順の番号が明記してある。</p>	<p>・穏健、中正な書風である。 ・3年生では基本的な点画が、4年生では組み立て方が、5・6年生では字形と字配りが取り上げられている。 ・良くない書き方の例を挙げ、どのように直すか考えるながら学習出来るようになっている。 ・学習の成果が確認できる自己評価欄「できたかな」「ふり返ろう」を設けてある。</p>	<p>・3年生では基本的な点画が、4年生では字形と組み立て方が、5・6年生では字形と字配りが取り上げられている。 ・「広がる学び」コーナーが設けられ、日常生活や他教科に生かせる学習ができるように工夫されている。 ・硬毛の整合性に配慮した字形で学びやすい書風であり、筆順を間違えないように番号が明記してある。</p>

<p>(3) 内容の構成</p>	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元に、「硬筆に広げよう」のページがあり、学習したことを硬筆に生かしやすく、毛筆と硬筆の関連が図られている。 ・「手書き文字で伝えよう」のページが充実しており、いろいろな学習に生かせるようになっている。 ・毛筆教材の左側にインデックスが設けられ、既習事項を確認し主体的に学習を進める手立てが講じられている。 ・巻末の学習した漢字の一覧表が筆文字で示されている。 ・書き初めが選択でき、「生活に広げよう」が多く配置され、学んだことを他の場面で生かす工夫がされている。 	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年に、学習したことを整理してまとめたものがついている。 ・5年資料に卒業生へのお祝いを示すなど生活の場において活用できるよう工夫されている。 ・「硬筆に生かそう」で毛筆と硬筆の関連が図られ、各単元に硬筆に生かそうのページがあり、中学生の学習へとつなげている。(6年) ・発展で、行書を書かせるページがある。 ・「観察」「試し書き」「自己評価」「練習」「まとめ書き」「振り返り」で構成されていて学習がしやすい。 	<p><u>三省堂</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年は書き込める欄が多く設けられている。 ・硬筆と毛筆の特性を生かし有機的に連携させられるよう教材が構成されている。 ・巻末の資料に、学習したことを整理してまとめたものがついている。 ・全学年に「ひろげよう」が配置され、他教科や生活、時期との関連が図られている。 ・毛筆で理解したことを硬筆で確かめるという学習過程が設定してある。 ・高学年では、書き初めが選択できるようになっている。 	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年に「トライアンドチャレンジ」が配置され、他教科や生活、時期との関連が図られ、主体的に学習できる工夫がある。 ・「横書き」が発達段階に応じて各学年で取り上げてあり、どの教科で生かせるのかを明記し、工夫してある。 ・朱墨と淡墨の筆遣いが見やすく、文字の組み立てやバランスが分かりやすい。文字の大きさや字配りなどを意識して練習できるように工夫されている。 ・巻末に2学年分担当漢字表が掲載され、毛筆の選択教材があり、書き初めが選択できる。 	<p><u>光村図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年の太字手本や3年以上の巻末担当漢字表の文字は毛筆書体になっている。 ・学習のポイントとなることが「たいせつ」コーナーに明示され分かりやすい。 ・2年以上には、「発展的な学習」として「もっと知りたい」コーナーが設けられ、筆・紙・朱墨と淡墨の筆遣いなどができるまで、また、はんこの作り方、行書について掲載してある。 ・発達の段階に応じて段階的・系統的に教材を配列し、学習の進め方が明記されているので、主体的に学習できるようにになっている。 ・毛筆のページに関連の硬筆が取り上げられている。 ・書き初めが選択できる。 	<p><u>日文</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1単元に前学年での既習事項を振り返る教材が設定されている。 ・全学年に「広がる学び」「もっと書こう」が配置され、他教科や生活、時期との関連が図られている。 ・毛筆のページや次のページに関連の硬筆が取り上げられ、毛筆教材の後に同じねらいの硬筆教材「なるほど書写教室」を設定し、学んだことを生かす習熟が図られる。 ・4年以上では、毛筆の主教材に副教材が設定されている。 ・「考える」「確かめる」「いかす」で構成され、学習しやすい。
<p>4表記・表現及び使用上の便宜等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ねこのキャラクターを登場させ、学習のヒントを投げかけ、親しみやすい紙面作りとなっている。 ・毛筆手本の左端にイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・博士や子どものキャラクターを登場させ、基本的技能や用語の解説、大切なポイントをせりふで示す等、親しみやすい紙面作りとな 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となる点画について毛筆の筆使いが、穂先の色を変えて示してあり、確認できるようになっている。 ・中学年に学習のポイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・男の子・女の子・くまのキャラクターを登場させ、基本的技能や用語の解説、大切なポイントをせりふで示す等、親しみやすい紙面 	<ul style="list-style-type: none"> ・男の子・女の子・動物を登場させ、基本的技能や用語の解説、大切なポイントをせりふで示す等、親しみやすい紙面作りとなっ 	<ul style="list-style-type: none"> ・点画の種類と筆使いが分かりやすいように、朱墨と薄墨を使った図版を用いている。 ・パンダのキャラクターを登場させ、基本的

	<p>ンデックスで既習事項が明記してあり個別の課題に対応できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とめ」「はね」「はらい」の毛筆の筆使いが、穂先の色を変えて示してあり分かりやすい。点画の種類と筆圧のちがいを「ト・ス・ピタッ」など分かりやすく示してある。 ・1・2年の教科書では、自己評価欄に貼るシールが用意されていて、楽しく学べるように工夫されている。 	<p>っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年の教科書では、自己評価欄に貼るシールが用意されていて、楽しく学べるように工夫されている。 ・「とめ」「はね」「はらい」などの毛筆の筆使いが、穂先の色を変えて示してあり分かりやすく、硬筆の文字が鉛筆タッチで示されている。 ・手本の多くが見開きで大きくしめされており、見やすい。 	<p>ントが示されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えよう・書いて確かめよう・毛筆で確かめようと、学びの手順が分かりやすく示されている。 	<p>作りとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「穂先の通り道」が明解でわかりやすいように、朱墨と薄墨を使った図版を用いている。また、「筆圧」について3段階で明示してあり、筆圧を意識しながら取り組めるようになっている。 ・1年は、巻末折込で鉛筆の持ち方と姿勢をいつも見られる工夫があり意識できる。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「穂先の通り道」が明解でわかりやすいように、朱墨と薄墨を使った図版を用いている。点画のつながりなどの筆使いが伝わるように工夫してある。 ・筆順を間違えないように番号が明記してある。 	<p>技能や用語の解説、大切なポイントをせりふで示す4年以上の「ここがポイント」等、親しみやすい紙面作りとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「考える」「たしかめる」「書いてみる・いかす」「ふりかえり」で過程が統一される。
5印刷・造本等	<p><u>東京書籍</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが多く、なじみやすい。 ・注意点などの吹き出しに色がつけてあり、見やすい。 ・透けにくい紙が使われている。 ・横幅を広くしたワイドな紙面を活用している。 ・表紙に耐久性を高める加工がしてあり、堅牢に製本してある。 	<p><u>学校図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが多く、なじみやすい。 ・毛筆の手本は、半紙原寸大を基本とし、大きさや位置を視覚的に理解しやすくしてある。 ・表紙に耐久性を高める加工がしてあり、堅牢に製本してある。 	<p><u>三省堂</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・色やイラスト、写真が少なく、すっきりしている。 ・表紙に耐久性を高める加工がしてあり、堅牢に製本してある。 	<p><u>教育出版</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが多く、なじみやすい。 ・色彩が美しい。 ・透けにくい紙が使われている。 ・表紙には撥水コーティングがしてあり、墨や汚れに堅牢な作りになっている。 ・表紙に優しいタッチの動物が描かれ、親しみやすい。 ・表紙裏には、全学年、鉛筆・筆の持ち方の写真が掲載され、確認できるように工夫されている。 	<p><u>光村図書</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが多く、親しみがもてるように作られている。 ・表紙に耐久性を高める加工がしてあり、堅牢に製本してある。 	<p><u>日文</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙のイラストが楽しい。イラストが多く、なじみやすい。 ・表紙に耐久性を高める加工がしてあり、堅牢に製本してある。